

令和7年度

事業報告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

令和 7 年度事業報告

平成 9 年より運営を開始し、今年で 29 年を迎え法人の基盤強化と事業の発展を模索してまいりました。この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として運営しております。

社会事業としては、特別養護老人ホーム・保育所の運営・一時預かり事業等を行っております。

【施設設備状況】

契約業者に定期点検を依頼しており、老朽化した箇所等は都度整備し、安全性を高めました。

- ・ 高圧電力から低圧電力に変更する工事（本部）
- ・ ICT 導入、タブレット等機器の整備（保育園）
- ・ 井戸ポンプ修理、交換工事（サンホーム）
- ・ 社用車購入等（本部・保育園）

【職員の確保と資質向上】

適正で安心した施設運営を行いつつ、利用者の施設環境の充実を図るため、施設内研修や外部研修等に積極的に参加し、職員自身が努力することにより、資質向上につながりました。

採用については採用時期の工夫、中途採用や定年を過ぎた年齢の健康である方等も採用し、日常業務が円滑に進められるよう人員の確保を行ないました。

また障害者雇用促進法改正に伴い、障害のある方 1 名を継続雇用し、健常者同様に能力を発揮できるよう職場環境を整えました。

今後も職員が安定、安心できる働きやすい環境設定に心掛け取り組んでまいります。

法人の運営

令和7年度 社会福祉法人リベルテ理事会等の報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

月 日	項 目	内 容
令和7年4月19日 (土)	評議員 選任・解任 委員会	議案第1号 社会福祉法人リベルテ評議員の選任について
令和7年5月22日 (木)	法人 決算監査	令和6年度の法人会計全般 (別紙監査項目と監査結果について)
令和7年5月24日 (土)	第1回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第1号 令和6年度事業報告の承認について 議案第2号 令和6年度収支決算報告の承認について 議案第3号 役員選任候補者の推薦について 議案第4号 評議員選任・解任委員会任期変更について 議案第5号 評議員会開催について
令和7年6月7日 (土)	第1回定例 評議員会	議案第1号 令和6年度事業報告の決議について 議案第2号 令和6年度収支決算報告の決議について 議案第3号 理事の決議について 議案第4号 監事の決議について
令和7年6月7日 (土)	第2回定例 理事会	議案第1号 理事長選任について 議案第2号 業務執行理事の選任について
令和8年3月28日 (土)	第3回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第1号 令和8年度事業計画(案)について 議案第2号 令和8年度収支予算(案)について 議案第3号 経理規程一部改正について 議案第4号 保育園運営規程一部改正について

定期報告等：法人現況報告について・法人変更登記

諸規則等の改正：諸規則等を必要に応じて改正

令和7年度 サンホーム真壁 事業報告

特養・短期入所

令和7年度の入所稼働率（短期入所含む）は、88.3%でした。

平均介護度3.7

利用者が最期まで自分らしく安心して暮らせるよう、嘱託医との連携を図りながら利用者の健康管理を行うと共に、生活リハビリを中心に行い残存機能の維持に努めました。

また、日常生活に楽しみが持てるよう外出の機会を増やし、ボランティアを受け入れるなど、レクリエーションに力を入れ取り組みました。

令和7年度は2名の利用者を施設で看取りました。ご家族様も定期的に面会することで、お別れの準備ができ穏やかな気持ちでお見送りすることができました。

感染症対策について

感染委員が中心となり、感染発生状況の確認および対応方法の見直しを行いました。

また、手指衛生の徹底として、職員へ手洗い・手指消毒の指導を行い、適切なタイミングでの実施を周知しました。加えてガウンテクニックの適切な使用方法についても研修を実施し、職員の感染対策意識の向上を図りました。

コロナウイルス感染者が確認された際には、速やかに感染対策を実施するとともに職員間での情報共有および対策の統一を図り、感染拡大の防止に努めました。

感染が確認された利用者については居室対応とし、職員は個人防護具を着用のうえ対応を行いました。また、接触のあった利用者および職員の健康観察を強化し、体調変化の早期把握に務めました。

身体拘束廃止及び虐待防止の取り組みについて

身体拘束については、「切迫性・非代替性・一時性」の三原則の周知徹底を図り、委員会を中心に事例検討や現状把握を行い、拘束ゼロに向けた意識の向上に努めました。

また、虐待については、研修の実施と日常的な声かけにより、不適切ケアの早期発見と未然防止に努めました。

職員の資質向上の取り組み

研修に参加し職員一人ひとりがそれぞれのキャリアに応じて能力や資質を高められるように研鑽に励みました。

さらに新任職員には指導担当者を配置し、業務内容の指導および育成を行い、職員の育成体制の強化を図りました。

令和7年度 サンホーム真壁 会議・委員会報告

【会議・委員会】

会議・委員会名	開催頻度	内 容
施設会議	毎月開催	施設運営全般について
入所検討委員会	〃	入所希望者の情報共有、検討会 (各関係機関等への参加要請)
給食委員会	随時開催	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討 検食簿の確認、意見等の反映
口腔ケア・ 栄養管理委員会	〃	入所者の栄養状態の把握、口腔内及び嚥下機能に応じた食形態の 検討、計画書の作成、モニタリング、再アセスメント、体重測定、嗜好 調査
環境整備委員会	〃	エアコンフィルター掃除、外窓の洗浄 備品の在庫管理、衛生用品の管理及び発注依頼
防災・災害対策委員会	〃	消防訓練の計画及び実施、非常食備蓄の管理、自然災害に関する 事業継続計画の話し合い及び訓練の実施
レクリエーション委員会	〃	季節を楽しむ外出等の計画及び実施、催事等の企画 ボランティア慰問調整、行事の振り返り
リスクマネジメント・ 安全対策委員会	〃	事故原因の特定及び分析、ヒヤリハットの共有、職員への周知、安全 対策の検討及び研修への参加、事故報告書等の記録の整備
感染対策委員会	〃	感染症、食中毒に関する研修、訓練の実施、感染症発生時の対策 及び指導、物品管理、感染症BCPに関する話し合い
褥瘡委員会	〃	褥瘡予防や対応方法の検討及び褥瘡の状態の把握 状態に応じた福祉用具の選定、研修への参加
看取り委員会	〃	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)ケアの方針についての 話し合い、振り返り
身体拘束・ 虐待防止委員会	〃	身体拘束廃止に向けての取り組み及び取り組みに対するモニタリン グ、虐待防止委員会の開催及び研修計画
担当者会議	〃	入所者の情報の共有及び計画書の策定など

【その他】

項目	実施日	内 容
防災訓練	令和7年6月12日	避難訓練(夜間火災想定)
	令和7年12月26日	総合訓練(火災想定)消防署、防災会社立合有
苦情処理	令和7年11月10日	苦情解決研修受講

令和7年度 サンホーム真壁 行事・催事等の報告

月	行事名	実施内容
4月	花見	中庭の散歩と花との撮影会
	誕生会	4月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
5月	母の日	写真撮影会、プレゼント、行事食(お祝膳、甘味)
	誕生会	5月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
6月	父の日	写真撮影会、プレゼント、行事食(お祝膳ノンアルコールおつまみ)カラオケ
	誕生会	6月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
	天引観音・大宝神社	あじさい祭り(ドライブ)
7月	七夕まつり	七夕飾り、行事食の提供、写真撮影会
	誕生会	7月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
8月	納涼祭	お菓子の掴み取り、ヨーヨー、くじ引き、輪投げ、行事食(お弁当)かき氷
	誕生会	8月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
9月	誕生会	9月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
	敬老会	長寿のお祝い、写真撮影会、行事食提供、紅白饅頭、ボランティア(生バンド演奏)
10月	運動会	運動会(玉入れ、パン食い競争)、行事食の提供(運動会弁当)
	誕生会	10月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
11月	紅葉ドライブ	大宝神社へドライブ(菊祭り)
	みかん狩り	サンホーム農園でのみかん狩り
	誕生会	11月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
12月	クリスマス会	写真撮影会、プレゼント、行事食の提供(オムライス・照り焼きチキン)歌
	誕生会	12月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
	餅つき	餅つき、おやつ(お汁粉)
1月	新年会	行事食の提供(握りずし)、サンホーム神社参拝
	誕生会	1月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
2月	節分	豆まき、行事食の提供、甘酒
	誕生会	2月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ
	地域散策	真壁のひな祭り見学
3月	ひなまつり	玄関ホール雛人形観賞、行事食の提供(海鮮丼)
	花見ドライブ	近隣の桜の名所ドライブ
	誕生会	3月生まれ、誕生会、リクエスト食、記念撮影、ケーキ

※ 毎月10日、地域貢献事業(地域清掃活動)

令和7年度 東平塚保育園事業報告書

つくば市の保育所利用児童数は増えているものの、未満児の保育所にはまだ多くの空きがあり定員に満たない園が多い現状です。当園も今年度は96%にとどまりました。職員の採用が難しいことも、定員が満たさない理由のひとつとなっています。

そのような中、今年度よりICTを導入したことで保育士の業務が軽減され、保育にゆとりがうまれました。その結果、基本的な生活のスキルの取得や、年間の行事を通して、子どもたちの探求心やわくわくする気持ちを育む保育につなげることができたと感じています。

主な園行事に加え、12月には茨城県森林協会主催の森の教室(キャラバン隊)のイベントも楽しむことができました。

また、AEDの導入に伴い、実施した救命講習会では、職員の半数が普通救命講習修了証を取得しました。今後も園内外の安全管理を徹底し、子どもたちが明るく楽しい園生活を送れるよう取り組んで行きたいと考えています。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16
4歳児	12	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2歳児	18	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
1歳児	16	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	12	6	6	6	6	6	6	9	9	9	9	9	9
合 計	90	84	83	84	84	84	83	86	86	86	86	86	86

イ) 職員体制(計 26名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	10名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	7名	調理員(補助)	2名
副主任保育士	1名	看護師	1名	補助職員	2名

2. 保育の実施状況

- 穏やかな保育を進めながら子どもたちの育ちに寄り添い、いろいろな行事を楽しみ、興味や関心を深めながら協調性や社会性などが身につくようにしてきました。

- 衛生面を徹底する中で、日常の生活習慣がスムーズに送れるよう配慮し、職員間の連携で一人一人の成長を大切に進めてきました。
- 定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心につながるようにしてきました。

主な園内・園外行事

実 施 日	内 容	場 所
4月1日	入園式・進級式	一時保育室
4月15日	園外保育:つくば植物園(年長児)	つくば市植物園
5月12日	野菜の苗植え・田植え	中庭の畑
5月14・21・29日	保育参観(0～5歳児)	各クラス・園庭
5月23日	園外保育:お買い物体験	近くのパン屋さん
6月19日	交通安全教室(つくば市交通安全課)	多目的ホール
7月1日	プール開き	中庭・多目的ホール
7月16日	夏まつり	多目的ホール・中庭
9月12日	お月見会	多目的ホール
9月29日	シャボン玉パフォーマンス	園庭
10月23日	親子遠足	日立動物公園
10月29日	消防署見学	つくば消防署
11月19日	交流事業「おいでよ春日ランド」	春日小学校
12月22日	森の教室:キャラバン隊	茨城県森林・林業協会
12月25日	クリスマス会	一時保育室
1月9日	ならせ餅	多目的ホール
1月16日	すもう大会	多目的ホール
2月12・17・26日	保育参観(0～5歳児)	各クラス・園庭
2月19日	縄跳び大会	園庭(3～5歳児)
3月13日	お別れ会	一時保育室
3月17日	未満児懇談会(進級説明会)	多目的ホール
3月17日	卒園式	一時保育室
3月23日	以上児懇談会(進級説明会)	多目的ホール

※ その他、誕生会(毎月)、野菜の収穫(夏野菜・ジャガイモ・さつまいも)クッキング等
個別面談(6月・1～2月)

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施(6/12・11/11)
- ・歯科検診 年2回実施(6/21・11/8)

イ) 食育(給食)

- ・季節の野菜の苗植えから収穫まで、世話をしたり観察したりしながら、「食を楽しむ」ことに取り組んでいました。田植えをして育てた稲を使ってしめ縄づくりも楽しみました。
- ・収穫した野菜を使ってクッキングでは、調理をする楽しさと、苦手だった野菜にチャレンジすることもでき、食に対する関心を深めることができました。
- ・アレルギーの相談には栄養士が直接保護者に対応し、除去食などの提供を行いました。
(給食会議 月1回)

ウ)安全対策

- ・ヒヤリ・ハットの事例をまとめ、職員に周知することで、事故要因の解消につなげ、事故件数の減少に取り組んでいました。
- ・交通安全指導では、つくば市の交通安全課の職員による指導を行い、就学に向けての交通安全指導も実施しました。各クラスの園外保育(散歩)では散歩計画をもとに、見守り職員を必ず動員させて安全面に留意してきました。また、災害時に備えての計画に沿った避難訓練や防犯訓練を実施しました。

避難訓練(毎月)

実施日	内 容	消防立合	実施日	内 容	消防立合
4月22日	訓練の種類を覚える	無	10月20日	園内火災	無
5月27日	地震からの火災	無	11月12日	風水(竜巻)	無
6月13日	火災(通報訓練)	有	12月19日	火災(通報訓練)	有
7月22日	地震	無	1月26日	地震	無
8月22日	風水(竜巻)	無	2月24日	風水(竜巻)	無
9月1・19日	地震(引き渡し訓練)	無	3月9日	地震・火災	無

防犯訓練(年3回 実施)

7月29日	不審者想定	11月20日	一時避難	2月13日	二次避難
-------	-------	--------	------	-------	------

※10月18日 救急救命講習会 普通救命講習修了証取得(職員12名)

3.職員

ア)衛生感染対策

- ・職員健康診断(10月) ・保菌検査(毎月：10月～3月ノロウイルス実施)
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ)会議

- ・職員会議(毎月)・給食会議(毎月)・以上児会議・未満児会議・リーダー会議等随時月の予定確認やクラスごとの様子、各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めました。特に特性のある児童については園全体の職員に周知し対応に努めてきました。

行事においては、こどもの日や七夕、ひな祭りなどの集会をやめて、各クラスで行うように変更し、職員の作業軽減に努めてきましたが、反省点を踏まえ、次年度の課題として取りまとめてきました。

ウ) 園内・外部研修

・職員の資質向上を目指し各研修に全員参加できました。

園内研修状況

開催日	研修名
4月1日	児童の尊重・倫理規定他
5月9日	リトミック
6月23日	事故防止マニュアル・プール遊びについて(職員の心構え・留意点)
7月17日	幼少期の終わりまでに育ってほしい10の姿を身につけるための保育ハラスメント防止規定
8月8日	食育・アレルギー対応
9月10日	救急、防災(応急処置や災害時の対応)、BCP(事業継続計画)について
10月14日	ヒヤリハット①遊具点検の仕方、園内の危険箇所・安全点検
11月27日	特性のある子への支援方法、保護者対応
12月26日	保育者の接遇マナー
1月14日	児童の尊重(虐待防止・不適切保育について)
2月17日	保育者のメンタルヘルスケア
3月13日	ヒヤリハット②集計からみられる反省点 BCP(事業継続計画)の確認

園外研修状況

実施日	内容
5月30日	令和7年度定期総会並びに施設長研修会
6月6日	令和7年度第1回保幼小接続担当者研修
6月27日	つくば市スキルアップ講座 発達支援について学ぼう
7月8日	令和7年度第2回保幼小接続担当者研修(動画配信)
8月20日	令和7年度茨城県つくば保健所感染症対策研修会
8月23日	リタリコジュニアつくば桜教室:施設見学、相談会
8月27日	三和農村環境改善センター「宗教に配慮した給食について」
8月28日	つくば市スキルアップ講座「作って演じるわらべ歌の実践」
8月29日	つくば市スキルアップ講座「一緒に遊ぼう! わらべ歌」

9月4日	つくばブロック研修「じゃあ、どうすればいいの？」(肩をトントントン)
9月10日	令和7年度レクリエーション基礎研修会(子ども編)
9月11日	令和7年度中堅保育士研修「共に学ぶこれからの時代の保育実習」
9月18日	令和7年度保育士研修「子供の命に係わる各種の事故防止を予防する:事例をもとに」
9月29日	保育士研修会「今保育に必要なこと」
10月11日	令和7年度つくばブロック研修「モンゴル伝統音楽コンサート」
10月17日	令和7年度発達障害研修(子どもの支援編)
11月11日	令和7年度第3回保幼小接続担当者研修
11月15日	第47回茨城県保育大会
11月28日	令和6年度中堅保育士研修Ⅱ「集団で育てる気になる子の理解と対応について」
1月5日	カスタマーハラスメント研修「保育所におけるカスタマーハラスメント対策について」
1月20日	つくば保健所母子保健研修会「アレルギー疾患への園での対応について」
2月18日	不適切保育予防研修
3月9日	令和7年度特別研修会「処遇改善の一本化に伴う変更点の再確認とこれからのについて」

4.家庭との関わり

- ・各クラスのホワイトボードを活用し、作品の展示や写真などで知らせてきました。
- ・保護者に園だよりや保健だよりを活用し園内での様子や予定等を伝えてきました。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有してきました。
- ・緊急時の連絡方法としてICT ルクミー(配信システム)を利用。

ア)保育参観

- ・年2回 6月は自由参観、2月は各クラス実施。

イ)苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う予定だが、今年度もありませんでした。

5.地域とのかかわり

今年度も10月に就学前の園児が小学校で交流事業「おいでよ春日ランド」に参加しました。近隣の老人ホームへの慰問などは感染症が落ち着かない時期で行うことができませんでした。

今後も地域の方々と関わりが持てるような工夫をしていきたいと思っています。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	今年度よりICTシステムの導入により、職員の事務的作業が大きく軽減されたことで、保育士にゆとりができ、一層穏やかに、子ども達一人ひとりと関われるようになりました。また、全体的な計画や年間、月案などの計画に沿った保育内容の充実や創意工夫など、ゆとりのある保育が進められてきました。	毎月の以上児・未満児とのリーダー会議を通して年齢に合わせた保育内容で、行事への取り組みなどを話し合い主活動（年齢に応じた指導）や教材のバランスなども検討しながら、子ども達の興味や関心を引き出し、職員と一緒に楽しむことが出来、保育士としてのスキルを伸ばしてきました。
	発達援助の基本	子ども達の姿を確認しながら、日々の生活の中での援助を行い、基本的な生活習慣の自立に向けて無理なく進めてきました。その他にも、自ら進んで行動できるような環境を整えたり、特性のある子への配慮も個々に合わせて、職員間で共有し連携が取れていました。	子どもの姿に合わせた保育を行い、日々の振り返りの中で計画を見直ししながら、より子ども主体の保育になるよう工夫を行ってきました。また、楽しく行事にかかわりながら、基本的な生活習慣の自立に向けての「できた」という達成感を大事にしながら、次の意欲につなげていくようにしました。
	健康管理・食事	看護師との連携で、地域の感染症や、園内の感染症を把握し、早めの対策を講じたり、うがいや手洗いの再確認など、細やかな配慮ができていました。受け入れ時の伝達や気づきなどは担任へきちんと報告し、漏れないよう互いに確認しあうことを進めてきた。また、アレルギー児の食事や離乳食などは、栄養士が個別に話を聞き、それぞれの食事に対応してきました。	毎日、早朝保育と延長保育を担当する職員が同じ時間帯にいる為、職員の伝達はもとより、前日の様子がわかっている為、体調の変化にいち早く気づきやすい面がありました。今年度も、栄養士が個別でアレルギー児や離乳食の進め方などを話し合いながら進めてきました。嗜好調査からは家庭の様子がわかり、保育を進める上での参考にもなりました。
	保育環境	子ども達が安心して過ごせる場所であるため、常に衛生面や安全面に留意しながら環境を整えていきました。ヒヤリハットを活用し、危険箇所の把握や、改善などを職員間で共有し行ってきました。 また、いろいろな教材や経験を通して、探究心や挑戦する意欲が持てる環境を心掛けてきました。	年間を通して、衛生面には特に力を入れ、未満児の玩具の使い方（0歳児は玩具を口に入れやすいので小分けして遊ばせるよう工夫する）や、洗浄消毒など細やかに気を使い、感染症対策などを行ってきました。以上児は、のびのびと園庭で遊び、体力づくりやいろいろなことにチャレンジできる環境を整えてきました。
子育て支援		今年度は保護者の方々からの子育てについての相談はほとんどありませんでした。年2回の懇談会では子ども達の様子を伝えたり、不安に感じていることなどについて話し合ってきました。特性のある園児については、保護者の方と多く話をする機会を設け、日々の様子を丁寧に伝えました。	送迎の際の少しの会話の中から、子どもの様子や家庭の様子を知ることができるため、積極的に声をかけることを大切にしています。また、保護者の方と多くコミュニケーションを多く取ることで信頼関係を築き、安心して話せる環境づくりを心掛けてきました。
地域住民や関係機関などの連携		近隣の中学校より職場体験の学生の受け入れや、就学前の年長児の小学校との交流事業、療育施設との交流や、保育実習生・看護学生の実習の受け入れなども行っています。また、近隣のパン屋さんの協力でお買いもの体験などを行いました。	職場体験の学生や、保育実習生・看護学生の受け入れなど、将来的に保育所に興味をもってもらいたいという思いから、積極的に受け入れてきました。年長児の小学校との交流事業は、小学校を知る大切な機会となっています。
運営管理		今年度はICTの導入や、行事の見直し、研修のオンライン化が増えたことなどで保育士の負担軽減につながっています。その結果、子ども達が主体的に活動できる環境へとつなげられていると思います。 人材確保が厳しい状況ではありますが、今後も職員の質の向上に努め、安心・安全な保育を進めていきます。	人材確保が難しいが、今後も自園の良いところを大切にしながら、職員間での共通理解を深め、子ども達を温かく受け入れる環境づくりを進めることで、これからも保護者や地域から信頼され選ばれ続ける園を目指していきます。

令和7年度 童話館保育園事業報告書

保育園は子どもの生活の大半を過ごす場所であり、乳幼児期は人間形成の基盤を作る大切な時期でもある為、子ども一人一人に寄り添ったゆとりのある保育を行うことができることを目標に、行事を見直し職員の負担にならないようにした。

また、ICTを導入したことや基準より多くの職員を配置している為、勤務時間内に事務時間を確保することができているので、職員も余裕をもって事務を行うことができ、働きやすい職場環境になっている。

保育士自身が保育を楽しんで、子どもを肯定的に受け止め、それぞれの興味や関心に気持ちを寄せ、一緒に遊び学ぶことができる園をめざして努力をした一年であった。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳児	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
3歳児	12	13	12	12	13	13	14	14	14	14	14	14	14
2歳児	12	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12
1歳児	12	9	9	8	6	9	9	10	10	10	10	10	10
0歳児	8	3	3	3	5	5	5	6	8	8	8	8	8
合計	70	65	64	63	64	66	67	69	71	71	71	71	71

イ) 職員体制 (計 18 名)

園長	1名	保育士	9名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	4名	調理員	1名
看護師	1名	保育補助	1名		

2. 保育の実施状況

- ・指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- ・各園児の発達状況にあった保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- ・異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

《主な園内・園外行事》

4/1	入園式	童話館保育園(2F ホール)
5/7	野菜の苗植え	園庭 (畑)
5/12～16	個人面談	全クラス (2F 保育室)
6/23～25	保育参観	0～5 歳児 (各クラス)
6/27	プール開き	3～5 歳児対象
7/4	夏まつり	0～2 歳 (各クラス) 3～5 歳 (2F ホール)
9/12	引き渡し訓練	全クラス (0～5 歳児)
10/15・16	運動会ごっこ	0・1 歳児 (各クラス)
10/30	親子遠足	全クラス (東京ディズニーランド)
10/31	ハロウィン	全クラス (0～5 歳児)
11/8	運動会	2～5 歳児
12/8	フリー参観	0・1 歳児
12/25	クリスマス会	全クラス (0～5 歳児)
1/19～26	個人面談	全クラス (0～5 歳児)
2/3	節分	全クラス (0～5 歳児)
2/7	発表会	2～5 歳児
3/3	ひなまつり	全園児
3/17	お別れ会	全園児 (2F ホール) 午前
3/19	卒園式	童話館保育園 (2F ホール)

ア) 健康管理

- ・内科検診 年 2 回実施 (6/6 ・ 11/17)
- ・歯科検診 年 2 回実施 (6/12 ・ 11/20)

イ) 食育 (給食)

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・クッキング体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
- ・給食会議 : 離乳食会議 (月 1 回)
給食の内容を検討したり改善点などを話し合った。
(アレルギー除去食について・離乳食の進め方等)

※ 毎月第 3 週の日に栄養士が 4. 5 歳児を対象に食育指導を行っている。

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリハット報告書の事例を検証し、事故要因の解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え毎月避難訓練を行い、9月の防災月間には引き渡し訓練を行った。

実施日	内容	消防立合い	実施日	内容	消防立合い
4/21	地震・火災	無	11/26	火災	無
5/28	火災	無	12/18	火災（予告なし）	無
6/18	火災	無	1/16	火災	無
			1/28	不審者訓練	無
7/23	地震・火災 （通報訓練）	有	2/17	地震・火災 （通報・初期 消火訓練）	有
8/20	台風（水害）	無	3/9	火災	無
8/26	防犯教室	無			
9/12	地震（引き渡 し訓練）	無			
9/18	不審者訓練				
10/21	地震（強度）	無			

※ 不審者訓練（年2回 9/18・1/28実施）

※ 消防隊員による救命訓練・AED使用訓練（5/20実施）

3. 職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断（12/11）保菌検査
 - ※ノロウイルス検査（10～3月）給食室
- ・インフルエンザ予防接種（11/19）職員全員接種

イ) 会議

- ・職員会議（毎月）

子どもが安心して楽しめる環境作りを目指し、本来の保育の見直し、行事に振り回されないクラス運営が出来るよう、また各家庭の状況を話し合い情報の共有に努め温かい保育の提供に努めた。

ウ) 園内・園外研修

・職員の質の向上を目指し各研修に参加した。

※ 今年度も一部 ZOOM での研修が行われた。

《園内研修状況》

4/24	保育士の心得、BCP、緊急時の対応、熱性けいれんの対応
5/20・23	心肺蘇生、AED の使い方、保育指針、人権について
6/23	プール遊び、水の事故について、夏の感染症について
7/31	生活リズムの確立、設定保育について
8/27	気管支喘息の対応、運動遊びについて
9/18	発熱時の対応、トイレトレーニングについて、保育園におけるリスクマネジメント
10/21	嘔吐処理の仕方、実践
11/26	室内遊びを通しての発達について、BCP
12/18	荒巻シャケの遊び歌、リトミック、SIDS について、睡眠環境について
1/21	戸外遊びを通しての発達について、ヒヤリハット
2/24	不適切保育について、
3/19	一年間のふりかえり、来年度に向けて

《園外研修状況》

5/13	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 1 回
6/12	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 2 回
7/8	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 3 回
7/18	令和 7 年度 主任保育士研修会
8/5	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 4 回
9/18	未就学児施設におけるリスクマネジメントについて (ZOOM)
10/7	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 5 回
10/23	令和 7 年度 保育士研修Ⅱについて (集団で育てる気になる子の理解と対応について)
11/19	医療的ケア児支援研修 (看護師)
2/20	性被害防止研修
2/20	不適切保育予防研修
3/9	令和 7 年度 特別研修の開催について
3/10	令和 7 年度 土浦ブロック保育協議会研究会 11 回

4. 家庭との関わり

- ・ルクミーの連絡帳を使い、保育の状況やお子さんの体調の状況など密に連携を取っている。集金はルクミーに口座登録をして頂き口座引き落としとなっている。
- ・緊急時の連絡方法としてルクミーのおしらせを利用している。

ア) 保育参観 ・ 個人面談

- ・年2回、保護者参観を設け、集団の中での子どもたちの様子を見てもらい共有する時間を持つ。
 - ・年2回、個人面談を設け、家庭での様子や保育園での様子の情報交換、個々の発達について子育ての相談など保護者の方との話し合いをする。
- ※この他にも希望者には随時個人面談を受け付けている。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う。

5. 地域との関わり

- ※イオンモール土浦への家族の似顔絵展・敬老の日似顔絵展に参加
- ※青少年福祉体験の受け入れ。
- ※お話ポケットのお話会に参加。

令和7年度 保育園自己評価結果

童話館保育園

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	・見直した行事を目的に沿って子どもたちの育ちにあった保育につながるように、常に話し合いをし意見を出しながら、安定したクラス運営を心がけた。体調の変化に気づけるように関わり、保護者との連携もルクミーによるやり取りで一層密に対応できた。	・子どもの主体性を引き出す保育、環境づくり、言葉かけを適時にしていく。 ・行事や保育をする上で、まずは保育士自身が楽しみ、子どもたちと楽しみを共感しながら豊かな発想力で関われるようにする。
	発達援助の基本	・ひとり一人の発達状況を知る中で、その子にあった援助や計画を立てて保育している。また、気になる子への対応では、子どもの年齢ではなく発達段階に合わせて援助している。未満児会議、以上児会議で話し合いを持ちながら園全体の保育の質の向上につながっている。	・就学前までつながる目安となる全体的な計画をもとに共通理解や意識を高めながら保育し、今後も気になる子を含め、会議で話し合いながら、子どもの成長を見守っていけるようにしたい。
	健康管理・食事	・手洗い、うがいの徹底と個々の体調確認を心がけ、子ども達自身にも意識できるよう、日々声掛けをしていったことで、体調の変化に早く気づき対応できた。 ・アレルギー除去食への対応や離乳食の対応など、個々に面談し保護者との共通認識を持って関わっていった。	・体調の変化に気づいたら、検温はもちろん食事の進み具合やその他の症状などをみて、保護者への連絡をし感染の流行を防ぎ、感染を広めないようにしていく。 ・離乳食の進め方、メニューの内容など給食会議でなく、常に情報の共有を保護者にもしていく。
	保育環境	・子どもが心地よく安心、安全に過ごせるよう、安全点検や消毒を行っていく。子どもが活動しやすい保育室の温度、湿度などに配慮している。玩具・遊具は子どもの興味や発達にあった物を選び消毒して使用している。	・職員、園児、保護者共に感染症対策の意識を高めていった。 ・通常保育時に使用したものだけでなく、延長保育時に使用した備品の消毒作業が増えたが、共通理解のもと協力しながら行っていく。
子育て支援		・一時的に家庭内保育が困難になった家庭や、子育てに少し疲れた親のリフレッシュのために子どもを預かっている一時保育事業で、子育てに悩む親へのアドバイス等を行っている。在園児の保護者、園見学に来る保護者にも子育て相談や希望に応じて面談を設けている。	・保護者が子育ての悩みや、心配事を安心して話せる環境や雰囲気作りをしながらコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。
地域住民や関係機関などの連携		・商業施設で園児の絵画の展示やきらら祭りなどの灯籠の展示にも積極的に参加する。近隣の高校生の職場体験や短大・大学（保育士・看護学生）の実習生を受け入れている。小学校との連携を図り、情報交換をし保幼少の接続につながった。	・今後も絵画の展示等を通じて、園の存在を示していきたい。また、近隣の小学校との交流は就学前の子どもたちに安心を与えるものなので、継続したい。地域の学生を受け入れることで、採用につなげたい。
運営管理		・ノンコンタクトタイムを取り、保育から離れて事務作業など無駄な残業とならないように配置して業務が回るようにしている。 ・園長、主任の打ち合わせ時間をもうけ、会議に臨むことで内容の配分時間ができ、内容の濃い会議となった。	・園に関わる全ての人が自分らしくいられる場となるよう、職員同士保育に対する共通理解のもと、チームワークを大切にし、協力体制を整えて、それぞれの頑張りを認めながら、働きやすい職場づくりをしていく。

令和7年度 りんりん保育園事業報告書

今年度は、4月の入園児が1歳～5歳児は定員に達していたが、0歳児については入園児が0名であった。5月に1名が入園し、なかなか増えていかない状況からスタートしたが、9月からは順調に入園児が増え後半には定員数を超えることになった。

近年この地域も高齢化が進み人口が減少している中で、育児休暇を長く取る方が多く保育園を利用する子どもたちも入園時期が遅くなる傾向にある。家庭にとどまらずに、経済的にも身体的にも余裕のある生活を目指して仕事を持つ方々が多い中で、少子化の状況もあり、数ある保育園の中から選ばれる保育園を目指すことが大切と考える。特別な特色を提示することにはこだわらずに、安心安全な環境を整え心地よく穏やかに過ごすことが出来るよう対応していくことで、信頼に繋がり次の世代の子どもたちにもここを選んでいただけるよう、尽力を注いでいくことを心がけ保育を行っている。

自然あふれる環境の中でのびのびと遊び体力づくりを行い、目標を持ちコツコツと日々の保育で取り組み、運動会、発表会等大きな行事についても、集大成として楽しんでいる。食育活動については、食べる力は生きる力、心身の健康と豊かな人間形成を目指すうえで最も重要である。栄養士、調理師とも連携し食に関する情報を子どもたちと共に楽しみながら学んだり、畑作りから野菜の栽培をしてクッキングや給食時に味わったりと、自然や命に感謝をする心を育むよう進めている。

今後とも、子どもたち一人一人の思いを大切に、楽しく安心して過ごせる場所の提供の為に、職員と保護者の皆様と共に協力し合い取り組んでいく。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	10	0	1	1	1	1	1	2	3	5	7	7	7
合計	70	64	65	65	65	64	65	66	67	69	71	71	71

イ) 職員体制 (計 19 名)

園長	1 名	保育士	7 名	栄養士	1 名
主任保育士	1 名	非常勤保育士	7 名	調理員	1 名
副主任保育士	1 名				

2. 保育の実施状況

- ・心を豊かに、一人一人の思いを認め心身ともにのびのびと自らを表現できるよう対応し、興味関心を引き出し楽しむ手立てを提供していった。
- ・安心安全な環境づくりを徹底し、一人一人の成長を配慮した保育を行い、職員間の連携のもと進めていった。
- ・定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

《主な園内・園外行事》

4/1	入園式	りんりん保育園ホール
4/28	野菜の苗植え	園庭(畑)
5/13～16	個人面談(未満児・以上児希望者)	空き室利用
6/3～7	保育参観	0～5 歳児(各クラス)
7/4	夏まつり	2 歳児～(ホール・園庭)
7/28	お店屋さんごっこ	全園児(ホール)
8/26	お楽しみ保育	5 歳児(ホール)
10/16	運動会	2～5 歳児参加(園庭)
10/30	親子遠足	全園児(ディズニーランド)
11/8	林地区文化祭に参加・出展	林小学校に共同制作展示
11/12	巡回お話し会	3～5 歳児(ホール)
12/11・12	保育参観	0・1 歳児(各クラス)
12/20	発表会	2・3 歳児(一部) 4・5 歳児(二部)
12/25	クリスマス会	3～5 歳(ホール) 0～2 歳(各クラス)
1/23	クッキング(ピザ・フルーツポンチ)	5 歳児(ホール)
2/10	歯みがき指導	5 歳児(13名)
3/10	お別れ遠足(エキスポセンター)	5 歳児(13名)
3/13	お別れ会	全園児(ホール)
3/23	卒園式	4～5 歳児参加(ホール)
3/31	修了式	全園児

※ 毎月：誕生会、身体測定、 2 か月ごと：交通安全指導を行っている。

※ 個別面談(希望者)は随時受け付けています。

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施(6/2 ・ 11/21)
- ・歯科検診 年2回実施(6/26 ・ 11/20)

イ) 食育(給食)

- ・季節の素材や郷土の食材、また世界の料理等を取り入れ、様々な味や食感を経験し、楽しく食べて味覚の発達にも繋げていった
- ・畑作りを行い、野菜を育ててクッキングの活動で食材として使用し食べたり、給食の材料として取り入れたり、苗を育てて食するまでを体験して、実際に作る楽しさを味わい、食への関心を深めることができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
- ・給食会議、離乳食会議(月1回)
給食献立の内容の確認及び各クラスの食の進み具合や個々について等の共有。
(アレルギー除去食について・離乳食の進め方等)

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリハット報告書の事例を検証し、事故要因の解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え、避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合い	実施日	内容	消防立合い
4/11	火災(地震)	無	10/17	火災(通報)	無
5/9	地震	無	11/7	火災(地震)	有
6/13	火災(通報)	有	12/5	地震	無
7/11	近隣火災	無	1/16	火災	無
8/8	地震	無	2/6	風水害(竜巻)	無
9/11	地震	無	3/6	火災	無

※ 不審者訓練(年2回 7/25・11/28 実施)

3. 職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断(11/4) 保菌検査(毎月全員)
※ノロウイルス検査(10月～3月) 給食
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ) 会議

- ・職員会議、未満児会議、以上児会議(毎月)

子どもが安心して過ごせる環境となるよう、各クラスの現状共有や気になる子の相談、連絡事項や保護者対応の共有を行い、情報の共有に努めていった。行事の計画や内容についても確認し合い、反省会にて振り返りを行い次につなげていった。

ウ) 園内・園外研修

職員の質の向上を目指し各研修に参加した。園外研修はオンライン研修も参加していった。

《園内研修状況》

4/2・3	保育士の心得、熱性けいれん、BCP、リトミック
5/7・9	保育指針について、人権について、リトミック
5/20・29	救急救命講習
6/10	水遊び（水の事故・プールカード・日誌）、夏の感染症・熱中症、リトミック
7/3	生活リズムの確立、睡眠について、リトミック
8/1	アレルギーについて、熱の対応について、リトミック
9/4	気管支喘息について、園での多様性保育について、リトミック
10/2・3	感染症の対応、嘔吐処理の仕方・実践、リトミック
11/6	子どもの安全を守る為に～子どもの視野を知ろう～、冬の感染症予防策、リトミック
12/4	安全な睡眠環境をつくろう、おいしいを育てる、リトミック
1/19	言葉の発達について、ヒヤリハット、置き去り事故防止、リトミック
2/3	子どもの眼を守ろう、保護者相談・支援、リトミック
3/6	一年間を振り返って、来年度の研修内容

《園外研修状況》

5/28	石岡市保幼小接続研修会(第1回)
5/30	茨城県民間保育協議会 令和7年度施設長研修
7/18	主任保育士、主幹保育教諭研修会第1回保幼小接続担当者合同研修会
8/7	第2回保幼小接続担当者研修
8/20	総合母子保健事業研修会
8/22	石岡市勉強会
9/2	いしおかブロック施設長視察研修
9/11	中堅保育士研修会
9/18	保育士研修
10/9	給食施設従事者研修会
10/23	保育士研修会Ⅱ
10/28	いしおかブロック保育協議会実技講習会
11/6	食育研修会
11/12	公開保育・ランチ会
1/27	不審者対応及び防犯対策
2/25	不適切保育研修
3/9	特別研修会
3/16	保護者対応研修
3/17	保育研究発表会
3/18	給食関係職員研修会

4. 家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭と園での生活の情報を共有した。
- ・ICT化(ルクミー)を取り入れ、連絡事項の受信発信や口座振替にて集金をおこなう等共有の手段そして活用していった。

ア) 保育参観

- ・年2回、保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
※前期(6月)は実施し、後期は、2歳児からは発表会を参観とし、
0. 1歳児のみクラスごとに、人数制限で行った。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う。
※今年度は特になし

5. 地域との関わり

※コロナ以降、老人施設との交流はできなかったが、地域での行事(展示等)には参加した。

【林地区文化祭：絵画制作の展示】

【JA やさと：ちびっこ作品展】

【石岡市消防本部：救急の日ポスター展示】

【ヨークベニマル絵画展示】

令和7年度

保育園自己評価結果

りんりん保育園

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	PDCAサイクルをもとに、一年を通して体力作りを行い、音楽の表現遊び等日々の保育の中で楽しみながら身についていったものを、運動会や発表会等の行事として披露していった。反省、見直しを繰り返し行い、子どもたちの力を引き出し、生活や遊びの面で身につくよう対応し、自己肯定感が持てるよう保育を心掛けていった。	その都度会議を開き、反省や良かった点を生かし取り組んでいった。戸惑った点や、保育に重要と思う事柄について園内研修や情報収集を行い解決し生かしていく。
	発達援助の基本	一人一人の特性やペース、興味関心に配慮した関わりを行い、心の育ちも大切と考え家庭との連携を密にし援助をしていった。トイレ、着替え、食事等生活習慣の習得に向けた援助を心掛けた。気になる子ども数名おりその子に応じた対応を行い、自治体の健康相談の時にやり取りや指導を受ける等し、職員間及び保護者とも情報共有し援助を行っていった。	一人一人に目を向けて、成長、個性の見分けや判断を行い、保護者と共有しながら、職員間の連携のもと対応し、援助を行っていく。すべての子どもたちが、それぞれの自立を目指して成長していけるよう援助していく。
	健康管理・食事	常時の健康状態の把握を行い、日々の健康の変化に速やかに気づくことが出来るよう心掛けるとともに、日頃の手洗いうがいの徹底や掃除、アルコール消毒、玩具消毒等清潔に保つ努力を行っていた。食事については、生活環境や家庭での日常の把握も行い、給食会議をもとに給食室及び職員間で連携し、育ちにつながる大切な食事を援助していった。	近隣の感染症の情報については、早めに把握し対策に努めていく。保護者の方々に協力をお願いし、健康的に過ごせるよう働きかけていく。玩具の消毒や、手洗いの習慣、水分補給等日常の出来ることは滞りなく行っていく。食事については、楽しく食べるよう声掛けし取り組んでいる。
	保育環境	子どもが主体的に遊び、安心して過ごせるよう、玩具や配置を整備し、興味関心の持てる遊びや活動を計画し、毎日が満足して過ごせるよう対応した。子どもの動線を考慮した環境を整え、安全にのびのびと過ごせるよう心掛けた。	基本の安全点検はもちろん、室内外共に確認を行うことで、存分に遊びを楽しみ安心して過ごすことが出来るよう心掛けている。改善すべきことに気づいたらすぐに報告・連絡・相談を心掛けている。
子育て支援		子ども達の様子や変化で、気づいたことがあるときは、こちらから声掛けをして心配事や懸念点など保護者と共に解決に導けるよう対応をしていった。また、保護者の方からの相談事には、職員間で考え研修や様々な情報を学びながら、問題を大きくすることなく寄り添う気持ちで支援を行った。	在園児についての相談対応は常に行っているが、入園や一時預かりを希望した見学時に、子育ての相談を受けることが多くあり親身に対応を行っている。信頼を築くことが大切と思い対応をしている。
地域住民や関係機関などの連携		地域の公民館の文化祭に作品を出品したり、消防署やスーパーへの絵画の展示を行ったりと、近隣からの声掛けに答えて参加をした。小学校・中学校の体験学習に協力したり、小学校対象の公開保育を行ったりし、情報の交換を行っていった。	地域との交流は、子ども達や職員の負担にならないよう進めている。作品は地域の方々に喜んでいただき、職員や子どもたちにとっても励みになっている。小学校との子ども同士の触れ合いの場があれば考える。
運営管理		自治体とのやり取りで、最新の情報や取り組みを習得し対応を行っていった。近隣の保育園の公開保育に参加し、視察を行い、保育のヒントを得て日頃の保育に役立てている。保育士の人数が満たされている状況のため、協力し合いより働きやすい職場を目指し、より良い保育につなげていく。	職員同士風通しの良い環境で、知恵を出しあい、より働きやすい環境で、より良い保育を目指して取り組んでいく。子どもや保護者に寄り添い、同じ目標を持ち、チームワーク、チーム保育を目指し選ばれる園につながるよう努めていく。